

# 議案に対する討論

## 討論を行った議案

### 第32号から第40号までの 令和8年度予算

予算審査特別委員会で審査した令和8年度予算の内容について、定例会最終日に討論を行いました。

討論の主な内容を掲載します。

反対

日本共産党

賛成

もおか令和会



飯塚 正 議員

このような理由で  
令和8年度予算に  
反対・賛成しました



大瀧 和弘 議員

一般会計では、自衛官募集事務事業を行っている点、会計年度任用職員の待遇改善の余地がある点、民生費において敬老会開催事業・ミニデイホーム事業・井頭温泉招待事業の対象年齢が75歳のままである点、商工費において工業振興対策として企業誘致の促進を図るための補助金事業を行っている点、農林水産費において家族農業や新規農業者への支援策が十分でない点、土木費において農村部における生活道路整備や準用河川や用水路整備・管理の遅れに対して予算が不足している点、市営住宅における安全対策が遅れている点、公園施設修繕費の予算が不足している点、教育費において奨学金を返済しない給付型制度にしていない点、小中学校の給食費の無償化をしていない点、各区で行っている花いっぱい活動に対する支援事業を中止にした点が反対の理由である。

特別会計では、国民健康保険特別会計と介護保険特別会計において高い保険税となっている点、水道事業会計と下水道事業会計において使用料に消費税の上乗せをしている点が反対の理由である。

小中学校体育館への空調設備導入が進められ、昨今の猛暑に対する子ども達への熱中症対策が講じられている。また、国の重点支援地方交付金を活用し、小中学校児童生徒の給食費を無償化することにより、物価高騰の影響を受ける子育て世帯への支援が図られている点についても評価する。

令和6年度から設置された「こども家庭センター」に「子ども家庭ソーシャルワーカー」が新たに配置されることにより、虐待対応、育児困難など複雑化する家庭環境に対する支援体制の強化が図られている。

さらには、中心市街地のリノベーション事業として、台町地区市道 247号線「ときわ町どおり」において道路改良工事が開始され、道路とまちなみが調和した沿道整備が推進されることに対して、大いに期待するものである。なお、駅東地区のにぎわい創出についても、官民連携のもと、にぎわいと活気のあるまちづくりに向けて積極的に取り組まれるよう要望する。

施策の推進にあたっては、事業の必要性、優先性、緊急性などに留意しながら、市民の方々と共に職員一人ひとりが“主役”としての意識とスピード感を持って推進されるよう期待をするとともに、議員各位のご理解とご賛同をお願いし、賛成討論とする。